

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	峡東家庭教育支援チーム (呼称: 特定非営利活動法人すてっぷ・あっぷる) URL: kosodate-oyasodachi-apple.org
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	山梨県甲州市子育て支援施設内 地域子育て支援センターあっぷっぷ
活動範囲	甲州市 山梨市
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携による教育支援促進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (子育て支援センター運営に関しては市の業務委託、その他の活動は自主事業)
組織体制	10 人 子育てサポーター 5人、元教員 4人、保育士 4人 心理カウンセラー 2人
具体的な活動内容	①子育て・親育ち事業 (親学習講座、家庭教育出前講座(甲州市・山梨市内小学校、保育園など)、 託児付親リフレッシュ講座、妊婦対象講座など) ②一時預かり事業 (未就園児の一時預かり) ③地域子育て支援拠点事業 (市委託 地域子育て支援センター運営) ④個人の暮らしを支援する事業 (特別な配慮を必要とする家庭への支援者派遣) ⑤子ども放課後事業 (学童の放課後や長期休みの居場所作り、ダンス教室など) ⑥育児体験事業 (中学生の職場体験、赤ちゃん抱っこ体験など) ⑦各種団体との協働連携事業 (イベント開催、甲州市こどもフェスタ実行委員会、山梨県青少年育成ネットワーク参加、その他の子育て支援関係ネットワーク作りなど)





活動を通して感じていること
(成果、課題など)

乳幼児対象の支援については、甲州市の委託事業などもあり、安定して行えるようになってきた。また、知名度、信頼度も上がり、少子化であっても利用者が増加傾向にある。

小学校で行う家庭教育出前講座の利用は、ここ数年横ばいか減少傾向にあるが、早めに要項や案内を出しても、学校側が忙しかったり、担当者が変わって認識していなかったりで、書類チェックされないで、ギリギリになってもう一度送ってほしいと連絡があるケースも多かった。

教育委員会などともう少し連携をして行うか、しっかり周知する方法を検討しなければならないと感じている。

利用者の年齢層の変化とともに、ニーズも年々変化しているように感じている。しっかりリサーチして、今何が必要とされているのか的確に判断して活動を展開していきたいと思っている。